

## つちおと

7/15(土)

～ サンオーレそではま 海開き! ～

7年ぶりOPEN!

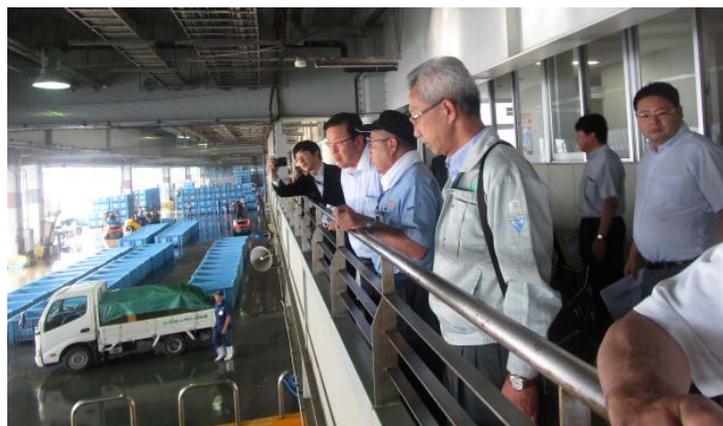


7月15日、南三陸町の海水浴場「サンオーレそではま」が7年ぶりに復活し海開きを迎えました。3連休の初日、真夏日に恵まれ、町や観光関係者、工事関係者などが出席した神事後、佐藤町長の海開き宣言とともに花火が打ちあがり、子供たちが歓声とともに海に走っていきました。8月20日まで営業の予定で、遊泳時間は午前9時半から午後4時です。7年ぶりのサンオーレそではまに、この夏はぜひご来訪を!

7/21(金)

～ 長坂復興大臣政務官 気仙沼市・南三陸町視察 ～

7月21日、長坂復興大臣政務官が気仙沼市と南三陸町を視察しました。気仙沼市では、気仙沼市魚市場でカツオの水揚げの様子、(仮称)気仙沼湾横断橋の建設現場を視察し、水産加工場で観光企画「ちょいのぞき」を体験しました。南三陸町では、南三陸町役場で森林の国際認証について説明を受け、南三陸さんさん商店街ではにぎわう様子を視察しました。政務官は、今回が初めての気仙沼市・南三陸町視察となりました。支所としても、引き続き復興に尽力して参ります。



6/23(金)

## ～ 第18回復興交付金交付可能額通知 ～

5月上旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、6月23日に交付可能額の通知を行いました。4県に対して通知を行い、その合計の事業費は約74億円、うち気仙沼市については、被災市街地復興土地区画整理事業（鹿折地区、南気仙沼地区）、優良建築物等整備事業等に約23億円、南三陸町からの申請はありませんでした。

これまで、平成23年から18回にわたって復興交付金の交付可能額通知を行っているところ、気仙沼市は合計事業費で約3,514億円、南三陸町は合計事業費で約1,414億円を配分しています。

また、第19回の実業計画の開始時期は、市町村等の作業状況を踏まえ検討することとしています。引き続き、気仙沼支所としても、気仙沼市と南三陸町の事業計画の策定や事業の実施に協力して参ります。



道路事業の予定地（本町宮口下線）



被災市街地復興土地区画整理事業が進む南気仙沼地区

## ～ 気仙沼クルーカード「サマークルーズ気仙沼」実施中！ ～

気仙沼観光推進機構では、街を船とし、人を乗組員とする「KESENNUMA Crewship」の一環として、ポイントカード「気仙沼クルーカード」を今年4月から発行しています。

これを提示して市内の加盟店で買い物をすると、通常1%のポイントが付き、1ポイント1円として使うことができます。加盟店ですぐに入会でき、年会費等はかかりません。加盟店には飲食店、ホテル等のほか、物産品店も多くあり、気仙沼に観光やボランティアで訪れた人だけでなく、市民の普段のお買い物でもポイントを貯めることができます。

また、カードから得られたデータは今後の観光推進に役立てられます。

このクルーカード、7月15日から9月17日までは、「サマークルーズ気仙沼」というキャンペーンを実施中。カードを提示して買い物をしたお店の数「ポート」によって、さらにボーナスポイントが得られます！「気仙沼みなとまつり」や「みなとでマルシェ。」といった市内のイベントでも「ポート」を貯めることができます。

期間中、店舗によってはクルー専用のメニューも用意されています。気仙沼にお越しの際は、ぜひ気仙沼クルーカードをご活用ください。



7/6<sup>水</sup>

## ～ シェアリングエコノミーシンポジウム開催！ ～

7月6日、気仙沼市で市民同士が遊休資産や技能をお互いに活用し、市民サービスやビジネスにつなげる「シェアリングエコノミー」についてのシンポジウムが開催され、市民約70名が参加しました。

シンポジウムでは、概要説明や先進事例の講演を聴き、駐車場の空きや車の相乗りといった「モノ」や、家事や育児の「スキル」など、シェア（共有）できそうなものについてグループごとに分かれて意見交換を行いました。

第2弾として、8月19・20日に、「シェアリングエコノミーを活用した『共助』によるまちづくり・産業づくり」と題したアイデアワークショップを開催予定です。

7/19<sup>水</sup>

## ～ タオヤギソウ試食会！ ～

タオヤギソウは、食感とぬめりが特徴の海藻で、国内に広く分布しています。しかし、これまで気仙沼の階上地区で汁ものの具等として利用される程度で、ほとんど一般には知られていませんでした。宮城県水産技術総合センター気仙沼水産試験場では、その可能性に注目し、新たな養殖対象種として、地元若手漁業者と協力し、試験養殖を続けてきました。

そして7月19日、タオヤギソウの認知度の向上に向け、試食会が開催されました。試食会には各社マスコミのほか、数十人の地元民宿・飲食店関係者などが集まり、試作された酢の物や卵焼き、天ぷらなどに舌鼓を打っていました。

今後、6次産業化や、地元の名物として観光に役立てられるなど、利用の拡大が期待されます。



◆ 梅雨とは名ばかりで、猛暑の日々が続いております。かと思うと、突然の豪雨により、市内各所で冠水が発生するなど、最近の気候はよく分かりません・・・。

昨年8月末には、台風10号が隣県の岩手県に上陸し、甚大な被害を引き起こしております。今年は何の災害にも見舞われず、楽しい夏であって欲しいと願うばかりです。

さて、過日7/15にはサンオーレそではまが7年ぶりに再開!! 7/25には小田の浜海水浴場も海開きを迎えました。暑い夏は、海水浴でリフレッシュして乗りきりたいものです。

ところで、復興庁気仙沼支所では、今秋予定される第19回の復興交付金事業計画提出に向け、市町と協力し課題解決に取り組んでおります。今後も一日も早い復興に向け、汗をかいていきたいと思っております・・・(吉)

# 復興関連イベント

## 夏まつり!

各地で開催される  
復興イベントをご紹介します。

【7月29日(土)】志津川湾夏まつり復興市【8月6日(日)】歌津復興夏まつり【南三陸町】

志津川は志津川仮設魚市場周辺にて12時から21時まで。トコヤッサイコンテストのほか、メッセージ花火が打ち上げられます。歌津は「ハマーレ歌津」にて10時から20時半まで。ポストくんのパレードが行われ、夜は花火です!

【8月5日(土)~6日(日)】第66回 気仙沼みなとまつり【気仙沼市】

初日は踊り自慢の市内外のチームが田中前の通りをはまらいんや踊りで埋め尽くします。2日目は内湾を灯籠で飾り付けられた船が行く海上うんづら、和太鼓勢揃いのうちばやし大競演などが行われ、花火がまつりを盛り上げます。はまらいんや!

※ 前号の本欄でサンオーレそではま海開きについて、「10時半からオープニングセレモニー」とお知らせしましたが、実際には9時からの開催となりました。お詫びして訂正いたします。

### 【編集後記】

◆生ウニも良いですが、塩ウニの入ったおにぎりや、ウニご飯、ウニカやウニクラゲ等の和えものも堪能できないものがあります。

## 気仙沼支所の 今月のベストショット Best★Shot ショット



松崎外ヶ沢のあじさい



WOW!!



アジサイは土壌の酸性によって花の色が変わって、一般的には酸性ならば青、アルカリ性ならば赤になると言われているよ。

これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元 (お問い合わせ先)

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所  
電話 0226-23-5301  
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ

<http://www.reconstruction.go.jp/>